

消防千葉

2025 No.611 令和7年9月号

目次

巻頭言 (木更津市消防本部 消防長)	2
全国女性消防操法大会に向けて	3
令和7年度 防火・防災ポスター展	4～6
わが町の消防団 (山武市消防団・鋸南町消防団)	7・8
東西南北	9～13
第61回市町村消防長・消防団長会議の中止	13
日々の動き	14



長生郡市合同水防訓練 (茂原市)

巻 頭 言

「豊かな自然と進展するまちを守るために」

木更津市消防本部 消防長 宗政 靖



木更津市は、都心から50km圏域の房総半島中西部に位置し、東西21.98km、南北14.54km、138.90km²の面積を有しています。西は東京湾最大級の自然干潟に面し、東は市原市、北は袖ヶ浦市、南は君津市と隣接しています。南部には低い丘陵が多く、北部は平坦で市街地と豊かな田園地帯が広がり、北東部に連なる山々は北西部に開け耕地を形成し、里海里山に恵まれた自然豊かなまちです。古くから港町として栄え、かつて川崎まで就航していたカーフェリーは東京湾アクアラインに姿を変え、都心との距離が縮まり、大型商業施設等の集積や定住・交流人口の増加による新たな賑わいが生まれています。さらに令和8年度に予定される圏央道の延伸により、羽田へのアクセスに加え成田空港もより近くなります。

木更津市消防本部は、昭和26年4月に消防本部・消防署が設置されて以来、令和8年には75周年を迎えようとしています。現在、1本部3課、1消防署、4分署、1出張所体制の194人の職員が勤務しています。あわせて、団本部、基本団員、機能別分団女性部、機能別分団学生部、機能別分団大規模災害部の464人の消防団員が各種業務に従事し、市民の生命、身体及び財産を守っています。

近年、全国的にも救急需要が増加している中、本市では特に日中に救急要請が多くなっていることを受け、平日の日中に対応する「特別救急隊」の運用を令和5年4月から開始し、現在では365日運用しています。さらに首都直下地震や南海トラフ地震など巨大地震の発生が懸念されていることから、消防力の更なる強化を図るため、令和4年度に救助工作車Ⅲ型及び高度救助用資機材を整備し、令和5年7月に「高度救助隊」を発足させました。

また、消防施設については、令和元年7月に約47年間使用した消防本部庁舎を新たに建設し、現在は令和8年4月完成予定の富来田分署の建て替えに着手しています。今後は、清川分署、高柳出張所及び旧長須賀分署を統合した新たな分署建設を計画的に進めていきます。

消防は、災害や事故の多様化及び大規模化、都市構造の複雑化、住民ニーズの多様化等のあらゆる変化に的確に対応し、市民を守るため迅速な消火活動、救急救助が常に求められます。そのためにも「減らせる火災」、「減らせる救急要請」が増えている実情に対し、一層の火災予防と救急車の適正利用の周知を強化することに加え、職員一人ひとりが任務に誇りと使命感を持ち、あらゆる事象に迅速的確に対応できる体制を確立するとともに、より質の高いサービスを提供できる組織を構築し、「安心・安全のまち・木更津」の実現を目指します。

全国女性消防操法大会に向けて

柏市女性消防隊

令和7年10月28日（火）に神奈川県横浜市の横浜赤レンガ倉庫イベント広場で開催される第26回全国女性消防操法大会に、「柏市女性消防隊」として出場することとなりました。

私たち柏市女性分団は平成26年に発足し、これまで11年が経過しました。現在は13名のメンバーで活動しており、半数が主婦で、他は会社員と学生です。主な活動内容としては、普通救命講習や火災多発期における夜間特別警戒、さらには各種イベントでの防災に関する広報活動が挙げられます。

現在、私たちの分団では未就学児を対象としたパネルシアターを作成し、市内の保育園で毎月1回の発表を行っています。これはパネルシアターを通じて、未来の防災を担う子どもたちに防災への興味を持ってもらうことを目的としています。

また、消防団員募集についてもポスターや三つ折りのチラシを作成し、行事等で配布を行っています。活動を通じて消防団の存在をもっと身近に感じてもらえるよう、市民の方々に防災の重要性を伝えることができると考えています。

過去には第22回、第23回の全国女性消防操法大会に出場しましたが、惜しくも入賞を逃し、悔しい思いを経験しました。それでも私たちは諦めず、更なる成長を誓い合いながら日々訓練に励んできました。特に今年度は昨年11月から週3回の厳しい強化訓練を実施し、より一層技術とチームワークを磨いています。

今回の大会では「再挑戦」を合言葉に全力で挑みます。積み重ねてきた訓練の成果を最大限発揮し、一人ひとりが持つ力を結集して、優勝を目指します。



令和7年度「防火・防災ポスター展」表彰式

千葉県・(公財)千葉県消防協会・千葉県少年女性防火委員会

毎年、県内の小中学生から防火・防災に関するポスターを募集し、その制作過程を通じて防火・防災への関心と理解を深めてもらうとともに、優れた作品を紹介することにより、県民の防火・防災思想の普及啓発を図ることを目的として、千葉県、(公財)千葉県消防協会及び千葉県少年女性防火委員会主催により、「防火・防災ポスター展」の表彰式が、去る8月19日(火)に、千葉県庁本庁舎5階大会議室において受賞者や受賞者保護者の皆様の臨席のもと開催されました。

本年度は、県内18の小・中学校から963の作品が寄せられ、厳正な審査の結果、最優秀賞には、小学生低学年の部で我孫子市立我孫子第二小学校3年ガガナペレラさん、小学生高学年の部で長柄町立長柄小学校5年 瀬尾拓翔さん、中学生の部で南房総市立南房総中学校1年 石井理紗子さんが受賞されました。また、優秀賞には習志野市立津田沼小学校3年高橋琳さんの作品外4点、千葉県消防協会長賞には流山市立南流山第二小学校1年の佐々木悠緋さんの作品外4点、千葉県少年女性防火委員会長賞には流山市立南流山第二小学校1年川南紅さんの作品外4点が選ばれ、それぞれ表彰状を授与されました。



知事表彰 (高梨千葉県副知事)



千葉県消防協会長賞・千葉県少年女性防火委員会賞
(石橋千葉県消防協会長)

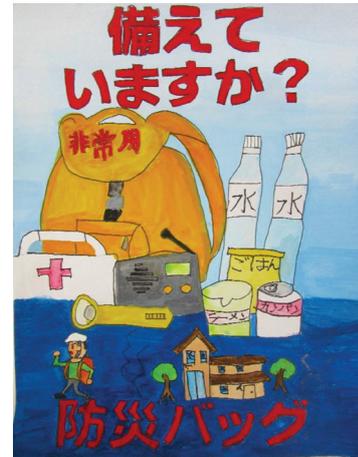


受 賞 作 品

◆知事表彰
☆最優秀賞



我孫子市立我孫子第二小学校 3年
ガガナ ペレラ



長柄町立長柄小学校 5年
瀬尾 拓翔



南房総市立南房総中学校 1年
石井 理紗子

☆優秀賞



習志野市立津田沼小学校 3年
高橋 琳



千葉市立金沢小学校 3年
阿久津 早喜



習志野市立津田沼小学校 5年
安倍 澄玲



習志野市立津田沼小学校 5年
中川 羽海



習志野市立第七中学校 2年
王 一薫

◆ (公財) 千葉県消防協会長賞



流山市立南流山第二小学校 1年
佐々木 悠緋



流山市立鱒ヶ崎小学校 2年
田淵 暉



習志野市立津田沼小学校 5年
兼清 咲彩



我孫子市立我孫子第二小学校 5年
吉川 葉奈



船橋市立芝山中学校 3年
羽根井 星那

◆ 千葉県少年女性防火委員会長賞



流山市立南流山第二小学校 1年
川南 紅



流山市立鱒ヶ崎小学校 2年
二村 泰音



野田市立みずぎ小学校 6年
阿部 百華



流山市立南部中学校 3年
工藤 樹奈



習志野市立津田沼小学校 5年
早崎 結南

わが町の消防団 ① 山武市消防団

山武市は、九十九里平野のほぼ中央に位置し、丘陵地帯や田園地帯、海岸地帯と豊かな自然に恵まれた風土を有しています。

遠浅な海が広がる海岸地帯には、多くの海水浴客が訪れ、特に本須賀海水浴場は、きれいで安全な海の証である「ブルーフラッグ」を千葉県で初めて取得し、世界的な美しい海水浴場として認められています。また、関東でも有数の苺の産地で、「ストロベリーロード」と呼ばれている国道126号沿いには、多くの観光苺園があり、毎年たくさんの観光客で賑わいます。

山武市消防団は、高田淳団長以下762名、13分団46部と女性部で構成されており、配備車両は、消防ポンプ自動車17台、小型動力ポンプ付積載車29台を有し、市民の安心・安全を守るため、常備消防と連携し、地域防災の一翼を担っています。



山武市消防団の主な活動は、火災や風水害などにおける災害活動はもとより、部長・新入団員訓練、無水利地区を想定した各地域ごとの中継訓練、安全管理講習、火災予防運動や歳末警戒、消防出初式などを実施し、地域消防力の強化を図ると共に、地域住民の防災意識の高揚に努めています。また、平成27年度に発足した女性部では、地元スーパーや各種



イベントでの防火啓発や応急救護の普及など女性ならではの視点で活動しており、特に学童クラブでの防災教室は、クイズなども交え、楽しく防災について学べると毎年、好評をいただいています。

近年、全国的に消防団員の減少による地域防災力の低下が懸念されておりますが、山武市消防団も例外ではなく、少子高齢化や就業形態の多様化などに

より、年々消防団員数は減少しており、消防団員の確保が課題となっています。

令和6年度からは、平日日中の火災における人員不足を解消するため、消防団員OBからなる機能別団員制度を導入し、現在92名の機能別団員が活動を展開しています。

また、今年度からは、消防操法大会や形式的な行事などを見直し、訓練についても、消火技術等の習得を主眼とした、より実践的な訓練を実施するなど、消防団員の負担を軽減しつつ、地域消防力の向上を図れるよう新たな取り組みを開始したところです。

これからも、先輩方が築いてこられた伝統を継承しつつ、時代に即した消防団を目指し、団員が一丸となり、住民の安心・安全を守るべく、より強固な消防団組織を構築できるよう努めてまいります。



あなたの力と支え合う強さが地域を守る
= 山武市消防団★団員募集 = 関連P.4



わが町の消防団 ② 鋸南町消防団



鋸南町は千葉県の南に位置し、海と山に囲まれた自然豊かなまちです。

町の北側には地獄のぞきなど様々なスポットが存在する鋸山が位置しており、年間を通して多くの観光客が訪れています。

また、12月頃からは日本3大群生地として知られる日本水仙が町内全域に開花し、甘い香りが町を包みます。その後も河津桜をはじめ10種類以上の桜が開花のリレーを行い、4月頃まで自然豊かな景観を楽しむことができます。

廃校となった小学校を再生し多くの観光客が訪れている道の駅保田小では、令和5年10月に隣接した旧幼稚園を再生した附属幼稚園がオープンし、多くの観光客で賑わっています。



さて、鋸南町消防団では、団長以下団本部を中心に4分団及び女性消防、計146名で組織され、水槽付き消防ポンプ自動車5台、軽可搬ポンプ積載車2台を配備し町民の安心安全を目指し、日々活動に従事しております。

主な行事は、出初式をはじめとする恒例行事や訓練、啓発活動、夜間警戒活動等を実施しています。



訓練については、中継放水訓練や規律訓練、消防職員による機械器具講習など多彩な火災に対応できるように訓練を行っております。また、町防災訓練時には心肺蘇生等の救急救命講習や倒壊家屋からの救助講習等を行っております。

近年では町防災訓練の避難訓練に合わせ地震による津波警報に伴う車両の退避を行ったのち、火災が発生したことを想定した中継訓練なども行っております。

年々激甚化する災害に消防団員への期待は上がる一方、全国的な消防団員の減少は当町も例外ではなく、少子高齢化や就業形態の変化により、団員の減少、高齢化が年々進んでおり、消防力の低下が懸念されております。そのような中でも活動ができるよう日々努力を重ねるとともに、町、消防署、地域との連携を深め、地域の安心・安全を目指し活動してまいります。



東 西 南 北

東 西 南 北 南房総MC協議会 症例検討会 安房郡市広域市町村圏事務組合消防本部

南房総MC協議会（夷隅消防、安房消防）では、症例検討会を毎年2回行っています。近隣の長生消防、君津消防、富津消防に参加を募り、亀田総合病院で令和6年12月13日（金）に行いました。

特異事案等を救急現場活動で経験した救急隊員が問題点や疑問をスライドで発表しグループごとにディスカッションして検討した意見を出し最後に医師から講評をいただきます。

参加者の知識や技術の向上となり有意義な症例検討会になりました。



東 西 南 北 交通事故ゼロ！管轄消防団と合同訓練 松戸市消防局

松戸市消防局五香消防署は令和6年11月24日（日）、松戸市消防訓練センターにおいて、管轄の消防団と災害出場時の安全な車両運用能力の向上を目的に、合同訓練を実施しました。

五香消防署職員を講師として、車両の特性や災害出場時の関係法令に関する座学と車両の誘導要領や狭隘路走行の実技訓練を実施しました。訓練を通して車両操縦時の危険性や緊急走行時の注意事項などの認識を共有し、交通事故防止に向けた安全運転への機運の醸成を図ることができました。今後も訓練を重ね、消防職員、消防団員ともに災害対応能力の向上に努めてまいります。



東 西 南 北 消防団による津波対応訓練を実施 銚子市消防団

銚子市消防団では、令和6年12月17日（火）、大規模地震による津波災害に備えるため、津波対応訓練を実施しました。この訓練は、地震・津波災害時の活動計画に基づき、災害発生時の人的被害の軽減を図ることを目的としています。

訓練内容は、情報伝達訓練、避難広報訓練、避難所運営訓練を実施しました。避難所運営訓練は女性と大学生で構成されている第11分団によりHUG（避難所運営ゲーム）を実施しました。HUGとは災害時の避難所運営を模擬体験するもので、カードに書かれた様々な状態の避難者を受け入れていく机上訓練です。

訓練を通じて、避難所運営の課題等を確認することができました。



東 西 北 郵便局員とヤクルトレディによる火災予防広報を実施！

東 南 北 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部では佐倉防火安全協会と合同で、令和6年秋季全国火災予防運動の一環として、地域のつながりを大切にされている日本郵便株式会社佐倉郵便局・八街郵便局及び千葉県ヤクルト販売株式会社佐倉センター・ユーカリが丘センター・八街センター・八街北センター・酒々井センターのご協力により、火災予防広報を実施しました。

郵便局の集配車両やヤクルトレディの皆さんが使用する販売用バッグに住宅用火災警報器設置促進に関するステッカー等を貼付し、佐倉市、八街市、酒々井町の皆様に火災予防を呼びかけ、多くの事業所やご自宅に訪問していただくことで、効果的に火災予防広報を行うことができました。



東 西 北 管理者特別功勞表彰伝達式を実施

東 南 北 佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部では、令和6年11月13日(水)、佐倉防火安全協会様から訓練用水消火器一式を寄贈いただきました。

これは、「災害に強い安全な街づくりの一環として、事業所及び地域自治会等が行う消防訓練において1人でも多くの方に体験していただき、幅広く活用していただきたい。」との地域防災への貢献の思いから、寄贈いただいたものです。

消防組合では、今後さらにたくさんの方に消火器の取り扱いを知っていただき、地域防災力のさらなる向上に努めてまいります。

なお、この寄贈に感謝の意を表し、12月25日(水)、西田管理者より夏海佐倉防火安全協会会長へ表彰状と記念品を贈呈し、管理者特別功勞表彰を行いました。



東 西 北 勇気ある人々の連携で心肺停止の男性を救命

東 南 北 適切な救命処置で尊い命を救った2人に夏見消防署長から感謝状を贈呈

船橋市消防局

船橋市夏見消防署では、令和6年12月11日(水)に消防協力表彰としてバイスタンダーの2人に対して感謝状の贈呈を行いました。

当事案は、市内のバス停で心肺停止状態に陥った男性を帰宅途中の看護師が発見、いち早く119番通報及び胸骨圧迫を実施し、同じく発見した現場付近飲食店店長が、現場近くのコンビニエンスストアから迅速にAEDを搬送、さらに駆けつけた警察官と協力して適切な救命処置を行い救急隊に引継いだものです。バイスタンダーによる見事な連携により、その後、傷病者の男性は無事に社会復帰しました。



東 西 南 北 文化財防火デーに伴う防災訓練を実施

柏市消防局

柏市消防局では、地域の文化財を災害から守るため、令和7年1月8日(水)に「旧吉田家住宅歴史公園」、令和7年1月23日(木)に「染谷家住宅」で文化財防火デーに伴う防災訓練を実施しました。これらの訓練は、長い歴史の中で生まれ、先人が守り伝えてきた文化財を次世代に引き継ぐための重要な取り組みです。文化財の火災予防に向けた意識を高め、地域全体で文化財を守るため、今後も継続的に防火対策を強化し、地域の宝である文化財の火災予防に取り組んでいきます。



旧吉田家住宅歴史公園



染谷家住宅

東 西 南 北 令和6年度我孫子市・取手市合同震災時対応救助訓練実施

我孫子市消防本部

我孫子市消防本部は、令和7年1月29日(水)に取手市消防本部(茨城県)のCSR訓練施設で震災対応救助訓練を実施しました。今年度は震災発生時における関係機関との更なる連携強化を図るため取手市消防本部の他、NPO法人日本救助犬協会、千葉県警我孫子警察署、千葉県警第三機動隊、東京慈恵会医科大学附属柏病院DMATチームが参加しました。関係機関と現場レベルでのコミュニケーションを図れたことで、より一層の連携強化に繋がりました。今後も現場活動の更なる向上を目指し関係機関と連携強化を図ってまいります。



東 西 南 北 心肺停止からの蘇生！人命救助に対し感謝状を贈呈

習志野市消防本部

習志野市消防本部では、令和7年2月4日(火)に心肺停止状態の傷病者を救った消防協力者に対し、感謝状贈呈式を行いました。

令和6年9月17日(火)習志野市内のマンションロビーで心肺停止状態となった傷病者に対し、現場に居合わせた千葉市消防局職員の須貝正孝さんをはじめ2名の方が、的確な救命処置(心肺蘇生法及びAEDの使用)を実施したことにより心拍は再開し、救急隊に引き継ぎ無事社会復帰へと繋がりました。

この功績をたたえ、消防長より感謝状を贈呈したものです。



消防協力者に感謝状を贈呈

市原市消防局

市内で発生した2件の救命事案において、いずれも「救命の連鎖」が繋がり、大切な命が救われ、社会復帰できたことに感謝の意を表し、市原市南総消防署長から3名の協力者に感謝状を贈呈しました。

このうち1件については、令和6年5月1日から、ちば消防共同指令センターで運用開始したLive119映像通報により、迅速かつ的確な救命処置が行われました。



令和6年度消防・海上自衛隊連携訓練

柏市消防局

柏市消防局は、令和7年2月20日(木)に海上自衛隊下総航空基地内訓練場において、海上自衛隊下総航空基地隊と災害対応連携訓練を行いました。この訓練は「災害時における応援協定書」を基に実施しています。

訓練想定は、海上自衛隊下総航空基地付近の県道にて油類を運搬中のトラックが横転し、炎上。消防と自衛隊が連携して消火活動を行うものでした。

海上自衛隊と消防局という、異なる組織が連携活動訓練を通して、お互いを理解することは、実災害現場で迅速に対応するためにも重要です。

今後も皆さまの安全な暮らしのために、最善を尽くしていきます。



令和6年度火災調査事例発表会を実施

松戸市消防局

松戸市消防局では、令和7年1月28日(火)に56名の職員に対して、松戸市で発生した火災5事例について、調査員による事例発表会を開催しました。

事例内容は、試料分析を実施した火災や実験を実施した火災等、様々なものがありました。

松戸市での事例発表会は昨年度から実施しており、様々な事例発表を聴講することにより、職員の火災原因調査における知識の向上に繋がり、アンケート結果からも大変有意義であったとの意見が出ました。

今後も組織として火災調査能力の向上に努めていきます。



千葉県消防学校火災調査科第29期フィードバック研修を実施 松戸市消防局

松戸市消防局では、令和7年2月17日(月)、18日(火)の2日間で57名の職員に対して、千葉県消防学校火災調査科第29期修了者のフィードバックとして、座学と実技による電気に関する火災の基礎知識及び情報公開と個人情報について研修を実施しました。

電気に関する火災の要因について講義で学んだ後に電気実験板を使用して、事象を確認し、X線透過検査装置やデジタルマイクロスコープを使用して見分することにより、参加者からは理解しやすかったとの意見が多く出ており、有意義な研修となりました。

今後も組織として火災調査能力の向上に努めていきます。



第61回市町村消防長・消防団長会議の中止について

(公財)千葉県消防協会では、各地域の実情に応じた円滑な消防行政を推進するとともに、県及び各消防機関と密接に連携し、各機関の課題等について理解と認識を深めることを目的として毎年、市町村消防長・消防団長会議を開催しているところです。

本年度も、7月31日(木)に市原市市民会館において「第61回市町村消防長・消防団長会議」を開催する予定でしたが、同月30日(水)にカムチャツカ半島付近で発生した地震により、千葉県沿岸に津波警報(注意報)が発表されたことに伴い、消防関係者の災害対応業務を優先するとの判断により、急遽中止とさせていただきます。

(予定していた会議概要)

日時：令和7年7月31日(木) 午後2時から

会場：市原市市民会館 大ホール

○議 事 以下の各機関からの報告等

千葉県防災危機管理部

千葉県消防学校

公益財団法人 日本消防協会

公益財団法人 千葉県消防協会

○講演会 「変革の時代のリーダーシップ」—危機に機能する態勢創り—

講師：(株)危機対応人財育成研究所

取締役所長 佐藤 康雄 様

日々の動き

防災危機管理部／消防協会 共同編集

令和7年9月・10月

- 9月11日 第44回 全国消防殉職者慰霊祭(ニッショーホール)
 26日 女性防火研修会(千葉県消防学校)
 10月19日 第46回 九都県市合同防災訓練(館山市)
 27日 第26回 全国女性消防操法大会激励交流会(横浜市)
 28日 第26回 全国女性消防操法大会(横浜市)



2025年度 全国統一防火標語
「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」

令和7年 秋の全国交通安全運動

9月21日(日)から9月30日(火)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日

9月30日(火)

スローガン

～見えないを 見えるに変える 反射材～

<表紙の説明>

長生郡市合同水防訓練 (茂原市)

長生郡市広域市町村圏組合消防団は、令和7年5月24日(土)に茂原市内において開催された一宮川流域治水環境対策協議会、千葉県河川協会長生支部、千葉県長生土木事務所及び千葉県一宮川改修事務所が主催する水防訓練に参加しました。

近年の激甚化している台風や集中豪雨による河川氾濫の被害を最小限に抑えるため、土のう作りやボックスウォールを使用した止水板設置工法などの実習に取り組みました。

当消防団は、住民の生命・身体・財産を守るため、今後も定期的に訓練を実施し、地域の防災力向上に努めてまいります。



バッチ・メダル・カップ・校旗・金銀器
造型美術品・校章デザイン考案企画



株式会社 **イデア工房**

代表取締役 山 田 誠

本 社 〒260-0844
千葉市中央区千葉寺町1210番地13
TEL 043 (265) 4321
FAX 043 (265) 4322

消防用設備点検・整備・施工
消防・防災用資機材

防災技術センター株式会社

本 社 千葉市中央区若草1-20-10
TEL 043(264)1182

ラビット消防ポンプ
消防用ジェットホース
各種消防機械器具
各種消火器



株式 会社 **清水商会**

千葉市中央区松ヶ丘町 635
TEL043 (266) 6131-5
<http://www.shimizushokai.net/>

当社は、全国に広がるネットワークを活かして
納期短縮と低コストを実現!

販促チラシ・DM、小冊子、会社案内、パンフレット
ポスター・チラシ、社内報・広報誌、名刺、WEB製作
うちわ、のぼり、カレンダー、年賀タオル・年賀状
クリアファイル、ノベルティ、自分史など

各種販促物・印刷物は、いつでもお気軽にご相談ください。

小松印刷グループ
ワタナベメディアプロダクツ株式会社 <https://ssl.protos21.com/>
千葉支店 千葉市中央区新千葉2-7-1 大宗第2ビル 604 〒260-0031 Tel.043-308-7023

消 防 個 人 年 金

- 1 最長70歳まで積立てが可能な、公的年金の補完ができる制度です。
- 2 予定利率1.25%(令和7年5月1日時点(将来変動することがあります))
- 3 月払、半年払、月払・半年払併用払から選択ができ、月払の場合、毎月10,000円(ゆうちょ銀行の口座から振替の場合は5,000円)から加入できます。さらに、加入時・加入期間中に、まとまった資金を一時払として払い込むことができます。
- 4 保険料は、生命保険料控除の対象となります。
- 5 消防団員・消防職員の退団・退職後も継続できます。
- 6 途中で脱退しても、積立金(脱退一時金)を受け取ることができます。

火 災 共 済

◆B型火災共済

5口500円・75万円
25口2,500円で375万円補償

◆C型火災共済もあります。

お申し込みは消防協会事務局まで
☎0436-37-1710



2019年3月
オーシャンフロントの
**露天風呂付客室
29室オープン!**



プライベートな露天風呂と海の絶景をお楽しみ下さい。

鴨川温泉 鴨川グランドホテル
TEL 04-7092-2111 (代表)

点検済票は適正点検の証です!
点検済表示制度の普及と推進にご協力願います



一般社団法人 **千葉県消防設備協会**
〒260-0005 千葉市中央区道場南1-9-15
電話 043-306-3871 FAX 043-223-7071
ホームページ <https://www.c-ssk.or.jp/>
メールアドレス c-ssk@iaa.itkeeper.ne.jp

各種消防設備設計施工

総合防災

株式会社 北原防災

千葉市中央区仁戸名町 702
電話 043 (264) 5511 (代)

各種式典・イベント会場設営 企画

株式会社 アーチサービス

代表取締役 **栗原宏之**

〒284-0001 千葉県四街道市大日2279-2
TEL. 043 (309) 8085
FAX. 043 (309) 8089

ホテルポートプラザちば

千葉市中央区千葉港8-5(千葉みなと駅前)
電話043-247-7211

千葉みなと駅
目の前の
絶好アクセス



シングル・ツイン・デラックスツイン・スイート・和洋室・和室(全98室)
洋室宴会場・和室宴会場(全12会場)
レストラン・お食事処・ティーラウンジ・プライベートルーム(全4店舗)

投

稿

募

集

令和7年9月1日 編集兼発行人
千葉県市原市菊間 783-1 千葉県消防学校内
公益財団法人千葉県消防協会会長 石橋 毅
TEL 0436 (37) 1710
郵便番号 290-0007
ホームページ <https://chisyokai.or.jp>
メールアドレス chisyokai@bz04.plala.or.jp

「消防千葉」では、毎号、県内の消防に関するトピックスを掲載しています。
消防(局)本部・消防団の活動について、
広く消防関係者等にお知らせしたい内容
がございましたら、消防協会事務局まで
奮って投稿してください。